

5. 生活行動の能力

生活行動の能力を見ると、「できる」比率が「一般的あいさつ」51.8%、「一般的コミュニケーション」35.7%、「定時の自発的起床」47.4%、「自発的な寝具整理」52.3%、「自発的な洗面・身支度」63.3%、「自発的な訓練参加」53.1%であった。

f9c.1. 一般的あいさつ (N=409)			f9c.2. 一般的コミュニケーション (N=409)		
	度数	%		度数	%
できる	212	51.8	できる	146	35.7
多少できる	91	22.2	多少できる	112	27.4
あまりできない	58	14.2	あまりできない	101	24.7
できない	38	9.3	できない	40	9.8
無回答	10	2.4	無回答	10	2.4
合計	409	100.0	合計	409	100.0

f9c.3. 定時の自発的起床 (N=409)			f9c.4. 自発的な寝具整理 (N=409)		
	度数	%		度数	%
できる	194	47.4	できる	214	52.3
多少できる	81	19.8	多少できる	80	19.6
あまりできない	74	18.1	あまりできない	70	17.1
できない	50	12.2	できない	34	8.3
無回答	10	2.4	無回答	11	2.7
合計	409	100.0	合計	409	100.0

f9c.5. 自発的洗面・身支度 (N=409)		
	度数	%
できる	259	63.3
多少できる	77	18.8
あまりできない	39	9.5
できない	23	5.6
無回答	11	2.7
合計	409	100.0

6. 在塾中の資格取得、就業の成否、雇用形態

在塾中になんらかの職業的資格を取得した者は36.4%（取得準備中を除く）であった。活動の終えかたは「満期修了」が68.2%、「早期修了」が3.7%、「中途退塾」4.9%である。「就業にいたった」者は43.5%、「求職中など」が23.0%で、在塾中に「就業できなかった」者が33.5%いる。「就業にいたった」者の雇用形態は、「正社員」19.1%、「アルバイト」49.4%、「契約社員・臨時社員など」21.9%であった。ニート期間と就業の成否との関係を見ると、「3年超～5年以下」の50.7%がもっとも高く、以下「1年超～3年以下」45.1%、「1年以下」44.2%、「5年超」42.3%となる。

若者自立塾で支援を受けた者の43.5%が訓練期間内の就労を達成しているが、その多くは月収10万円程度のアルバイトであり、この状態では経済的に自立しているとは言いにくい。若者自立塾の支援は、これまで半ばあきらめていた就労の第一歩を達成させているケースが